

温泉で健康に

三朝の療法効果 知るフォーラム

(松田隆会長)が毎年開催。「温泉つかって健康に」をテーマに、約60人が参加した。

岡山大学病院三朝医療センターの光延文裕センター長が基調講演し、「温泉療法は、温泉水や温泉地の刺激で自律的な回復を促す。生活習慣病の予防やストレス解消などに役立つ。副作用が少なく、健康増進にも応用できる」などと指摘した。

この後、同センターの芦田耕三副センター長、三朝温泉病院理学

療法士主任の磯江友章さん、「みさきdeノルディック」代表の大橋一枝さんが報告。

このうち大橋さんは、三朝温泉でノルディックウォークが健康増進を目的に毎月第1、第3月曜日に行われており、参加者から「三朝を満喫できる良い企画」と好評なことを紹介した。

(高取正人)

第8回中部住民健康フォーラム(新日本海新聞社など後援)が17日、倉吉市上井町1丁目の新日本海新聞社中部本社で開かれ、三朝温泉で取り組んでいる温泉療法の効果などについて認識を深めた。

鳥取県中部医師会



三朝温泉療法のメリットを紹介する光延センター長